

傘シェアリングサービス「チョイカサ」



Features：雨の日のちょっとした煩わしさの解消を目的に生まれたプロジェクト

チョイカサは、南海電鉄の社内ベンチャー制度を活用した、傘のシェアリングサービス。南海電鉄の社内の事業化支援プログラム「Fly beyond」から派生した、「傘を持ち歩かない」という快適をお届けするサービス。大阪府内の73ヶ所（最大89ヶ所）に傘スポットを設置し、雨の日のちょっとした煩わしさの解消を目的に、2020年10月～2023年7月末までサービスを展開してきた。梅雨時期など降雨予報がある季節に比べ、夕立やゲリラ豪雨など、にわか雨が多い晩夏～秋に多く利用いただいた。

Innovation・Future：チョイカサの経験が生かされた「ENTAME-DIVER-CITY」・「Chokett(チョケット)」

チョイカサで提供してきた、傘のシェアリングサービスという一つのサービスだけでなく、まちづくり目線より包括的に取り組みたいという想いから、南海電鉄が策定する大阪なんばエリアのまちづくりビジョン“ENTAME-DIVER-CITY”にチョイカサの経験が生かされている。チョイカサで取り組んだ「急な雨にも安心を提供する」といった視点を、一人一人の暮らし方を踏まえて多様なアプローチをしていくべきだという考え方から構想が生まれた。

“ENTAME-DIVER-CITY”では、各種コンテンツやまちのエンタメの力を高めていくことで、「わざわざ降りたくなるまち・場所」を目指す。具体的アクションとして、クリエイターインレジデンスプログラム「Chokett」の取組をスタート。街のあらゆる場所で、“ちょける”（関西の人々の気質を描写する方言の一つ。「ふざける、おどける」を意味する）を合言葉に、誰もが垣根なく一緒になって面白がれる街の使いこなし方を日々実験することにより、“ENTAME-DIVER-CITY”の実現を目指している。

傘をなくす度に購入する行動がもつたいない点に着目して生まれたプロジェクト

Find VALUE ～みつける～

傘を頻繁になくしてしまい、その度に傘を毎回買う行動がもつたいない点に着目。会社では、普段より沿線地域のまちづくりにも事業として取り組んでいることから、お客様に傘のシェアリングサービスを提供することで、「雨が降ったから帰ろう」ではなく、安心感を提供することができ、移動距離や滞在時間をのばすことにもつながる。

Create VALUE ～つくる～

チョイカサのサービス提供においては、傘スポットの日々のメンテナンス、中でも、色々なところに置かれている傘の偏りの調整や清掃が欠かせない業務となる。この業務は、NPO法人Homedoorにも協力いただきながら、実施してきた。チョイカサの趣旨に賛同していただいたワールドパーティーにはクオリティの高い傘を提供いただいたり、JTBから旅行者にサービスを紹介いただくなど、多様なプレイヤーとともに取り組んできた。

Share VALUE ～つたえる～

SNS(Facebook、Instagramなど)のアカウントを開設し、情報発信をするとともに、公共施設や南海電鉄線駅構内にて情報発信に取り組んできた。また、主要駅でのサービスPRイベントを行ったり、街中でプロモーション撮影も行った。



(チョイカサ 駅設置の様子)



(Chokettのメンバー)

Player

南海電気鉄道（株）	チョイカサ、ENTAME-DIVER-CITY、Chokettの企画・運営
（株）ワールドパーティー	【チョイカサ】専用傘の開発協力および提供
（株）JTB	【チョイカサ】旅行者向けへのサービス導入・情報提供
NPO法人Homedoor	【チョイカサ】傘スポットの巡回・清掃
様々なジャンルのクリエイターの方々	【Chokett】街の人たちと関わりながらエンタメを育むプレイヤー